

第1章 平田地区の概要

1 自然・歴史

2 社会基盤

3 まちづくりアンケートから(平成18年実施)

平田地区は、東近江市の西に位置し、北西部は瓶割山と雪野山を介して近江八幡市と竜王町に接してします。山林を除く大半の地域が農業振興地域で、平坦な田園風景が広がる農業の盛んな地域です。地区の総面積は約9km²で、地区面積の56%(約5km²)が水田を中心とした農地です。

平地には縄文・弥生・古墳時代の集落跡、下羽田遺跡・上羽田の内堀遺跡があり、また瓶割山・雪野山には古墳群が散在しており、雪野山を中心に二百基以上が確認されています。特に雪野山古墳では、「魏志倭人伝」で魏が倭のために作ったとされる『三角縁神獸鏡』を始めとした考古学上重要な遺物が多数出土しており、古代から重要な地域であったことが推測されます。

古事記・日本書紀には、壬申の乱で將軍として活躍した豪族、羽田君矢(八)国の名が記されており、羽田地域が本拠地であったと言われています。また、瓶割山は柴田勝家が戦で水瓶を割り士気を高めたという伝説からそう呼ばれるようになったとされており、江戸時代には羽田地域に仙台藩伊達政宗の領地が在り、陣屋が置かれていたという歴史ある地域です。

地区内の神社仏閣においては、平安後期を始めとする数々の仏像や、桃山時代の鬼面が受け継がれており、一部は文化財に指定されています。

遠く鈴鹿山系からの地下伏流水が瓶割山・雪野山の岩盤層にあたるため、地下水脈が豊富とされます。龍を奉る上平木町の御澤神社の清水池・白水池・泥水池は、この地の灌漑用に掘られたとされており、干ばつ時にも湧き水が絶えないため、雨乞い祈願や神鏡水が靈験あらたかと信仰され、遠方からの参拝客が後を絶ちません。

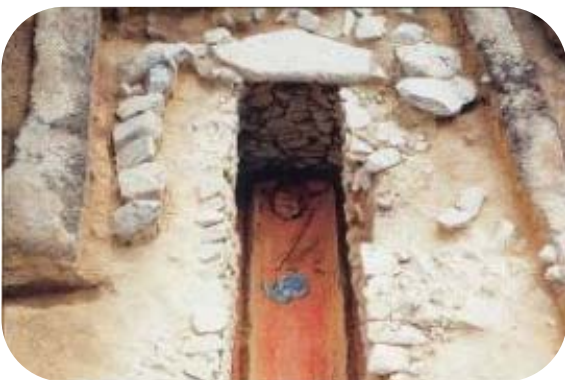
下羽田町から雪野山を越えて近江八幡市に至る古道は、平安時代の女流歌人である和泉式部が雪野寺に詣でた帰りにこの坂を越え、雪野寺の鐘を聞いて歌を詠ったことから「歌坂」と呼ばれています。また、中羽田町から竜王町へぬける山越えの道は、竜王寺の『龍鐘』と御澤神社の白水池にまつわる悲恋物語の伝説から「女坂」と呼ばれ、「歌坂」と並んで時の流れを身近に感じさせる山道です。



平田地区全体の航空写真



御澤神社



雪野山古墳石室



雪野山歌坂

平田地区の総世帯数は平成 21 年 10 月 1 日現在で 968 戸、人口 3,365 人(男 1,660 人、女 1,705 人)で、地区内には 12 の自治会が組織されています。

町別の人口の推移(後記の棒グラフ:昭和 50 年、平成 7 年、12 年、17 年は国勢調査、平成 21 年は住民基本台帳の数値)を見ると、今から 34 年前の昭和 50 年から平成 7 年の 20 年間に大きく増加しているのは、上平木町、平田町、柏木町と下羽田町で、これらの町ではそれぞれ宅地造成や住宅開発が行われています。それ以外の町では大規模な宅地造成は行われておらず、ほぼ横ばいで推移しています。このような開発の影響で、平田地区全体で人口は 567 人、18.0%増加しています。

しかし、平成 7 年以降は、各町とも着実に人口減少をたどっており、平成 21 年までの 14 年間では平田地区全体で 346 人、9.3%減少しています。

また、その間の 15 歳未満の人口減少はより顕著で 302 人、39.6%も減少しています。そのような中において、平成 17 年から 21 年の 4 年間に、下羽田町が唯一人口を増加させており、また、上平木町と下羽田町では 15 歳未満の構成比を高めている点が注目されます。この 2 町のおかげで平田地区全体でも 15 歳未満の人口は横ばいで、構成比では増加しているのです。

しかし、グラフには表れていませんが、6年後の平田地区の小学生は約 170 人になり、今の約 240 人から 3 割程度減少する見込みです。最近の平田地区の小学生は各学年 40 人前後で推移していますが、昨年度の 0 歳児は初めて 20 人を割り込み 19 人となりました。こういった現実の数字、少子化の現状を認識し、向き合い対応を検討していかななくてはなりません。

一方、65 歳以上の人口は各町とも着実に増加してきており、平成 7 年から 21 年までの 14 年間で、平田地区全体では 142 人、21.1%増加しています。

ここでも、平成 17 年から 21 年の 4 年間に、上平木町と下羽田町が 65 歳以上の人口を大きく伸ばしている点が目を引きますが、他の町では構成比は増加してきているものの実人口では横ばいとなっています。



史跡等案内看板



まちあるき

平田地区まちづくり委員会
H14~H17

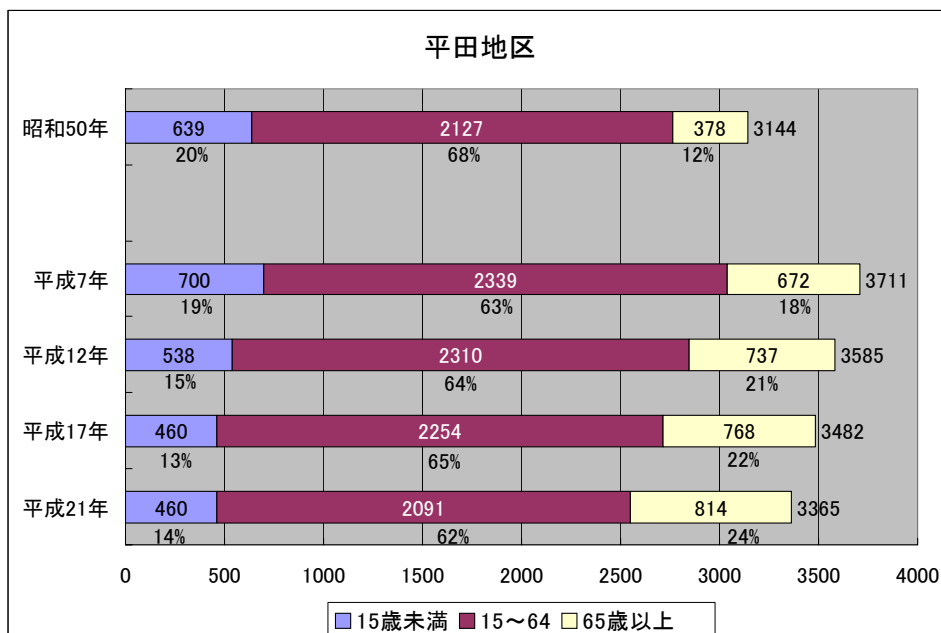
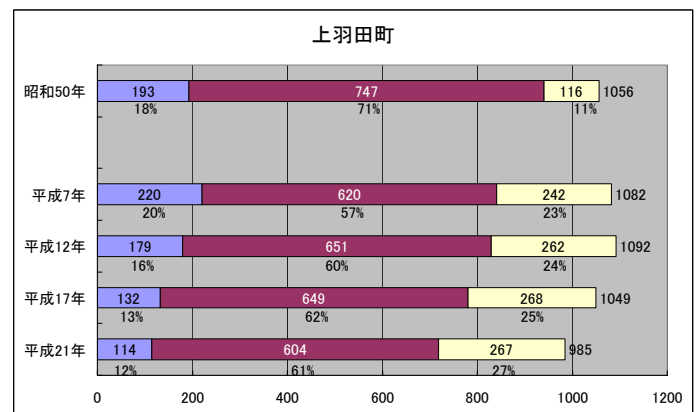
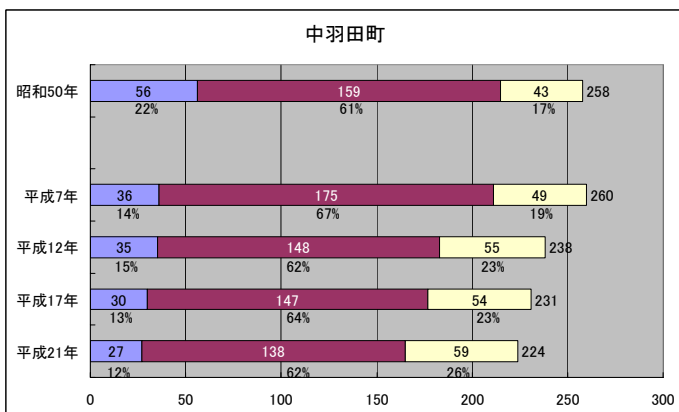
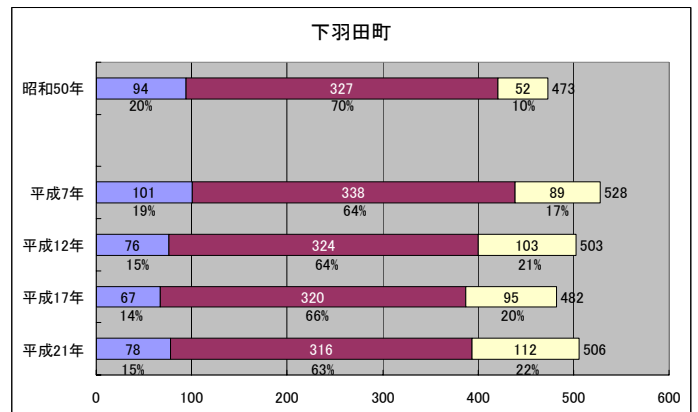
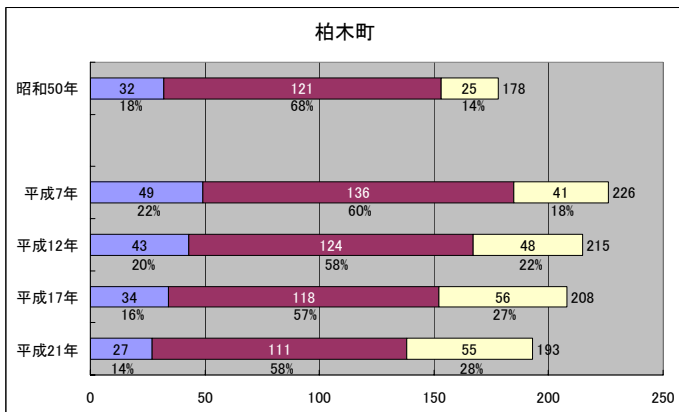
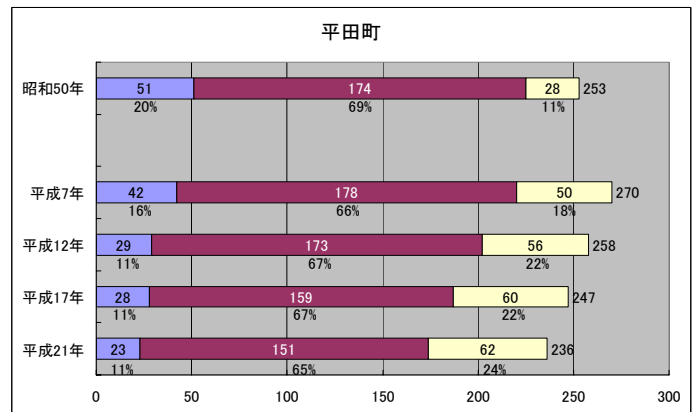
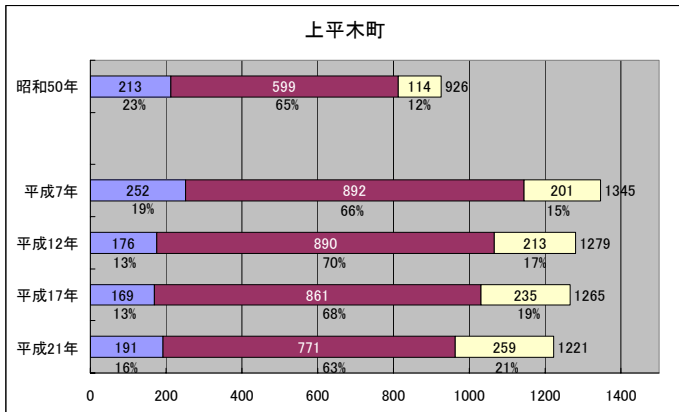


歴史・周遊マップ



雪野山歴史まつり

平田地区の町別人口の推移



交通面では主要地方道土山・蒲生・近江八幡線（通称日八線）が区内を縦貫し、区内往來の主要道であると共に、公共交通バス路線でJR近江八幡駅へのアクセス道路でもあるため就業者・通学者の主な通勤通学路線となっています。

区内を走るもう一つの県道下羽田・市辺線と市道新六ツ木線が市辺地区や八日市市街に通じる主要道となっていますが、歩道を含め道路の整備状況は十分とは言えず、都市計画街路近江八幡八日市線の整備が待たれます。

公共交通機関としては近江鉄道が平田町を通過しており、平田駅が設置されているものの北端に位置していることから平田地区全域をカバーする公共交通機関にはなっていません。また、近江バスが近江八幡・日野方面に運行しているのと、ちよこつとバスが八日市方面に運行中ですが、利便性に乏しいため、主要交通手段は自動車と自転車となっています。

区内には商業施設はほとんどなく、小売店が各町内に点在する程度で、八日市や近江八幡の市街地へ買い物に出かけることが多く、交通手段と道路事情から近江八幡方面への流動が多いといえます。

公共的な施設としては、駐在所、郵便局、医院、農協、コミュニティセンター、幼稚園が地区のほぼ中心の下羽田町地先に設けられています。また、平田小学校の運動場跡が平田グラウンドとして地域スポーツに活用されており、体育館として「トレーニングセンター」が併設されています。公園としては雪野山歴史公園や華岳山公園が整備されており区内外から多くの人たちが訪れています。また、各自治会で整備された公園では、老人クラブを中心にしたゲートボール・グラウンドゴルフが活発に行われています。

宅地開発は、鳴谷地区が昭和 50 年頃、野端地区が昭和 45 年頃に行われていますが、その後は大規模な開発は行われておらず、急激な人口の増加は無く、また、社会的な流入出も少ないため、顔見知り間の付き合いが深く、コミュニティセンター事業などに対する協力意識が高い地域で、自治会を中心に多くの事業が展開されています。



雪野山歴史まつり



里山再生活動

平田地区まちづくり協議会
H17～



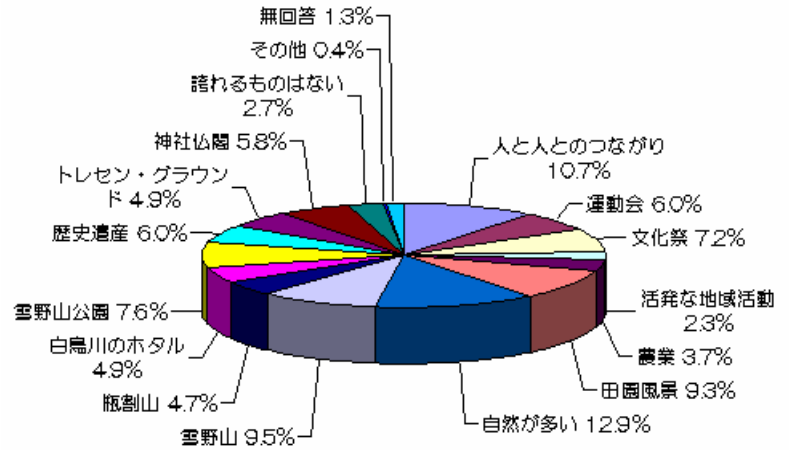
子育て応援活動



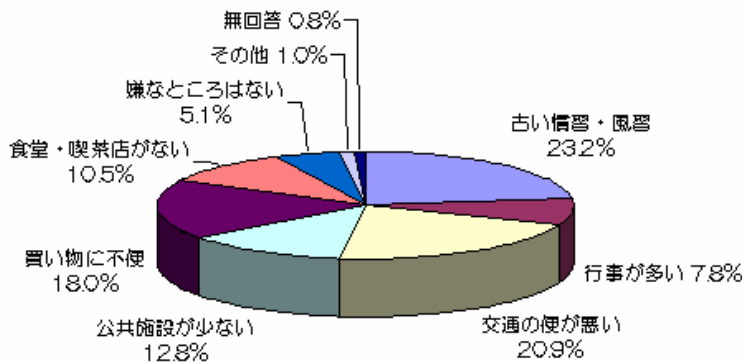
ひらた夢朝市活動

- 平田地区で誇れるものとしては、田園風景、雪野山、瓶割山をはじめとした自然景観があげられ、また人と人とのつながりといったものも多くなっています。一方、嫌なところとしては、古い慣習や風習が多く、次いで交通の便が悪いことやお店の少なさから買い物に不便なことがあげられています。

B-3 あなたが、平田地区で誇れるものは何ですか？

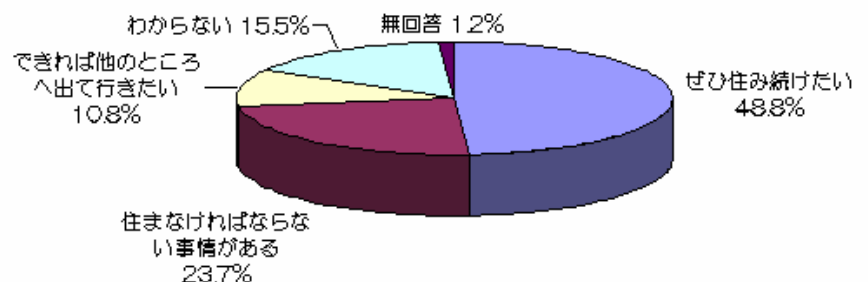


B-4 あなたが、平田地区の嫌なところは何ですか？



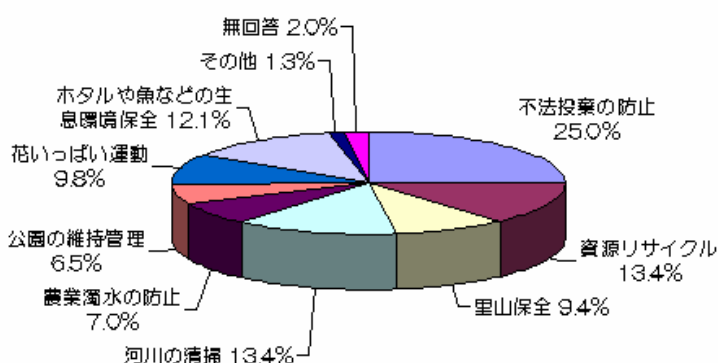
- 住みやすさや今後も住みたいといったことについては、高い支持がみられます。ただ、住まなければならない事情があるといった消極的な意見も少なくなく、特に若い世代で多く見受けられます。若い世代では、地域に愛着を持たず、他の地域へ出ていきたいと考える方も多く、次代を担う若い世代が住み続けたくなるまちづくりが必要です。

B-7 あなたは、これからも平田地区に住み続けたいですか？



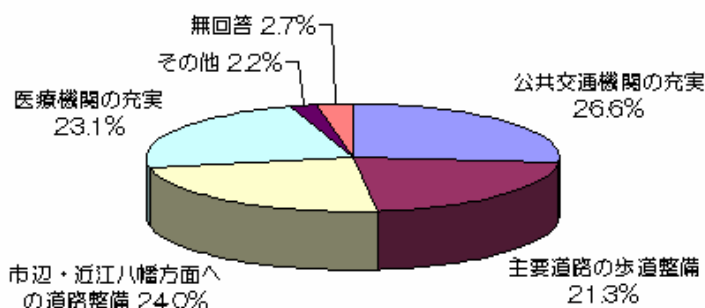
●環境保全のための取り組みとしては、不法投棄の防止や資源リサイクル、また、河川の清掃や里山保全が必要との意見が多くみられました。ホタルや魚などの生息する自然環境保全や花いっぱい運動の意見も多くみられ、今後の活動の広がりが期待されます。

C-1 あなたは、身近な環境保全のため
どんな取り組みが必要だと思いますか？

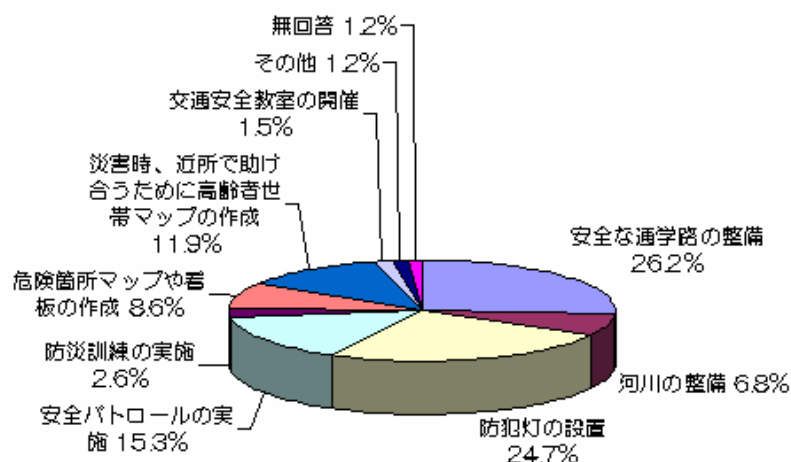


●利便性の向上や安全安心のためのまちづくりに必要な取り組みとしては、若年層や高齢者では公共交通機関の充実や歩道の整備、安全な通学路の整備が求められており、医療機関の充実も全体を通じて多く求められています。

C-2 あなたは、平田地区の生活利便性向上のため
何が必要だと思いますか？

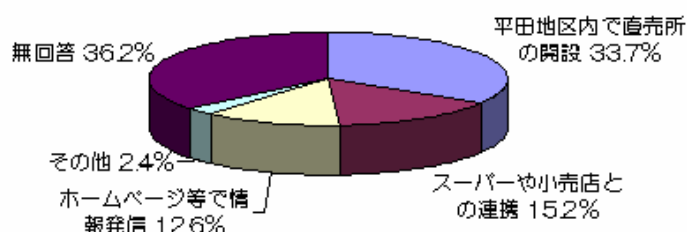


C-3 あなたは、より安心安全な平田地区にするため
何が必要だと思いますか？



●特産品づくりの面では、お米や野菜といった農産物を中心とした意見が多く出されており、高年齢になるほど必要性が多く求められています。朝市の充実が求められます。

D-2 あなたは、4-1の特産品をPRするには
何が必要だと思いますか？

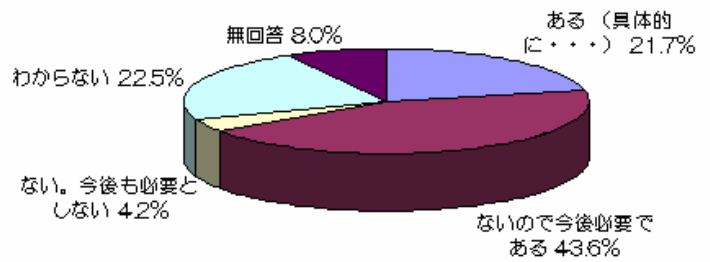


●子育て支援では、保育施設や安全な遊び場所の充実、子育ての仲間づくりが求められています。また、地域の人たちの見守りや手助けも多く、地域ぐるみでの子育ての必要性が感じ取れます。

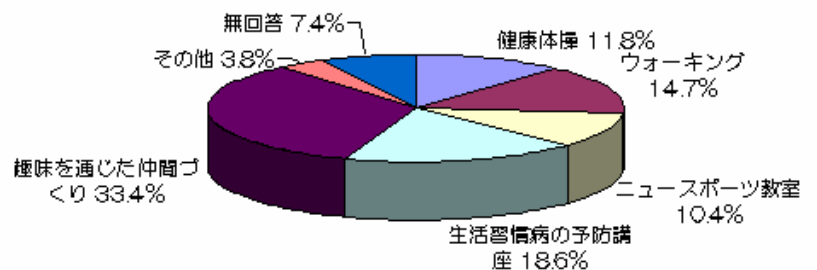
●健康面では、健全な食生活に取り組んでいる人が多く、スポーツやウォーキングへの取り組みとともに、趣味を通じた仲間づくりや生活習慣病の予防講座が求められています。

●暮らしの中で困っていることとしては、商店や医療機関の少なさとともに交通の便の悪さが多くあげられています。一方、自身や家族の介護といった面での不安も多く出されています。

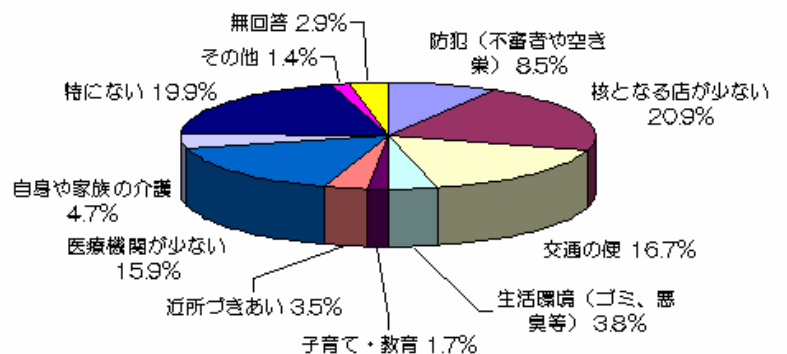
F-1 あなたには、子どもと安心して遊べる場所は平田地区内にはありますか？



F-4 あなたは、健康づくりのために地域でどんな取り組みが必要だと思いますか？



G-2 あなたが、日々の暮らしで困っていることはありますか？



環境保全活動
白鳥川かいどり大作戦

平田地区まちづくり協議会
H17～



環境保全活動
白鳥川粗大ゴミ回収